

キリスト教における自然と原罪

人間——  
この有限的なるもの

2008年9月8日(月) 15:00-17:00  
地球研・講演室

講師：中川明氏 (カトリック垂水教会神父)

申込不要  
聴講無料

# 第14回 人と自然：環境思想セミナー 人間 — この有限的なるもの

キリスト教における自然と原罪

近代というのは評判の悪い時代だ。すでに一世紀以上にわたって繰り返されてきたというのに、近代批判はいまだやむことはない。むしろ近年の地球環境問題の深刻化にともない、再燃してきたさざしすらある。ことあるごとに批判され罵られてきた時代、それが近代だ。

だが、問題は本当に「近代」にあるのだろうか。

かつてリン・ホワイト論争というのがあった。『サイエンス』に掲載されたリン・ホワイト・ジュニア(1907-87)の論文「現在の生態学的危機の歴史的根源」(1967)がきっかけとなった論争で、現代の環境破壊の元凶として、近代科学技術の根っこにあるキリスト教がやり玉にあげられた。もう40年も前の話だ。しかしその余韻はいまだ健在で、環境問題の思想的背景やその克服が問われる際には、いまでもこの種の議論が繰り返される。

だが、問題は本当に「キリスト教」にあるのだろうか。

近代にせよ、キリスト教にせよ、こうしたいわば大きな看板はこのの本質を見誤らせかねない。包括する範囲が広く事柄の全体を見渡すことができる半面、ともするとその全体性があだとなり、そこに包括されている当事者たちの実感の多様性が失われてしまう。愚直な物言いのようだが、近代に生きた皆が皆、いたずらに伝統社会を軽視して科学技術と市場主義の甘い汁を吸ったわけではないだろうし、キリスト者がすべて一律にいわゆる人間中心主義的な視点から自然は単に人間に利用される素材にすぎないとみなしてきたわけではない。

そういえばリン・ホワイトの先の論文の中には、こんな一節があった——「エコロジーに関してなすべきことは、人間と自然との関係について私たちがどう“考える”かに依存している」。

あえて言うならいま問われているのは、人間と自然との関係についてどう「考えるか」ではなく、どう「感じるか」ではないだろうか。問われているのは、思想という名のもとに論じられる大きな看板ではなく、日々の素朴な実感なのだ。いわゆる環境「思想」など必要ない。むしろ考えることと感ずること、それら両者のズレにつねに敏感でありたいと思う。

「しがたない町の神父として日々過ごしてきた」という中川明さんと今回のセミナーの打ち合わせをしながらふと思いついたことを書きました。タイトルは大仰ですが、内容はあくまで素朴な観点を見失わずにいきたいと思っています。近代だからダメ、キリスト教だからダメといった紋切型にはまらない丁寧な議論が展開できれば幸いです。

(環境思想セミナー担当：鞍田 崇)



ミンダナオ島東ダバオ州にて  
(撮影：中川明氏・2008)

## 【講師】 中川 明氏 NAKAGAWA Akira

1952年兵庫県生まれ。1976年に京都大学農学研究科博士前期課程を修了後、日本農業株式会社に入社。82年、同社を退社し、東京カトリック神学院(上智大学神学部)に入学。88年、上智大学神学研究科博士前期課程を修了、カトリック司祭に叙階。90～92年、米国・ウェストン神学校(Weston Jesuit School of Theology)にて修士課程を修める。以後、カトリック中央協議会福音宣教研究室室長を務め、主に関西にてカトリック教会活動にたずさわり現在に至る。著書に『妖怪の棲む教会』など。

日時：2008年9月8日(月) 15:00-17:00  
会場：総合地球環境学研究所(地球研) 講演室  
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山475-4

申込不要・聴講無料

主催：大学共同利用機関法人 総合地球環境学研究所  
文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」  
(リーダー：佐藤洋一郎・地球研教授)  
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project>

### 【アクセス】

- JR・近鉄・阪急沿線より  
京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。  
国際会館駅バスターミナル2番乗場から京都バス40系統  
(京都産業大学前ゆき)にて、「地球研前」下車スグ。
- 京阪沿線より  
出町柳駅で叡山電鉄鞍馬線に乗換え、「京都精華大前」  
もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。
- 車・タクシーでお越しの方は  
国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。

人と自然：環境思想セミナー  
～今後の予定～

第15回／10月1日(水)  
「われわれは何を失ったのか：  
焼畑と日本の基層文化」  
姫田忠義氏  
(民族文化映像研究所所長)

第16回／11月20日(木)  
「気配の痕跡：  
展示デザインと空間の記憶」  
木下史青氏  
(東京国立博物館学芸企画部企画課  
デザイン室長)

お問い合わせ

環境思想セミナー担当 鞍田崇(研究員)

075-707-2382 fax.075-707-2508 [kurata@chikyu.ac.jp](mailto:kurata@chikyu.ac.jp)

<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project/thought.html>